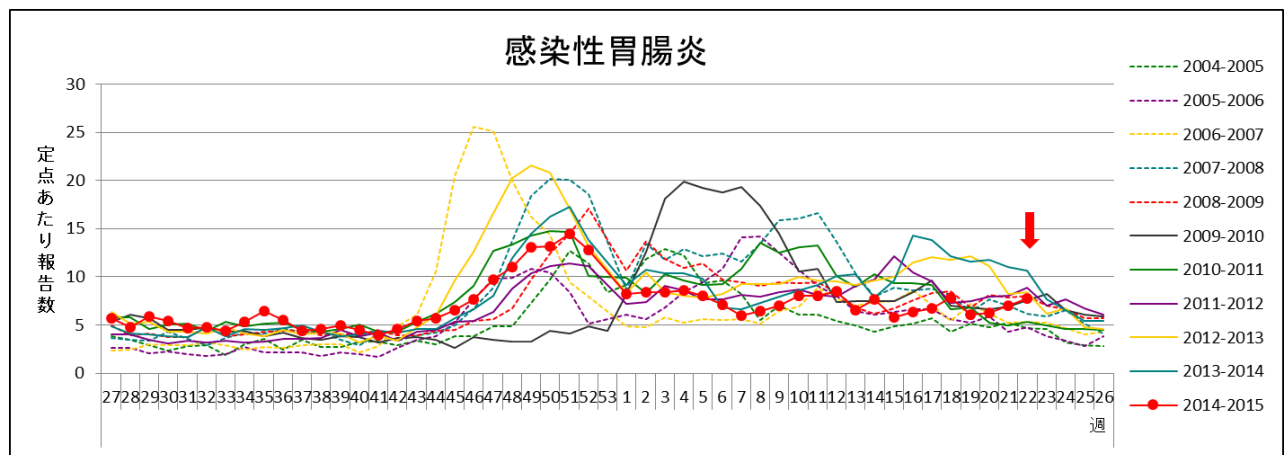


感染性胃腸炎週報 2015年 第22週 (5月25日～5月31日)

○感染性胃腸炎は、県全体で417名（定点あたり7.02 → 7.72人）の報告がありました（54定点医療機関報告）。



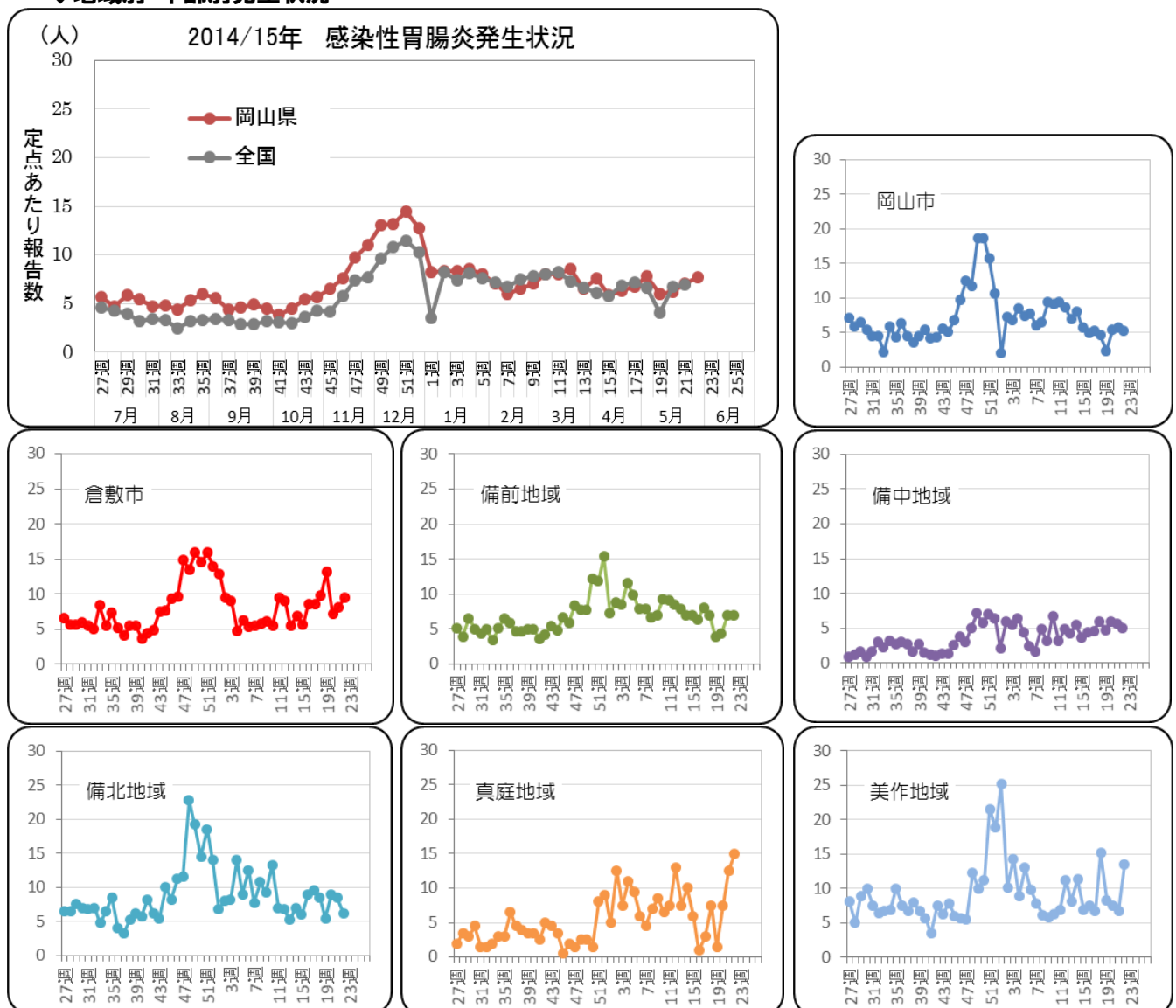
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

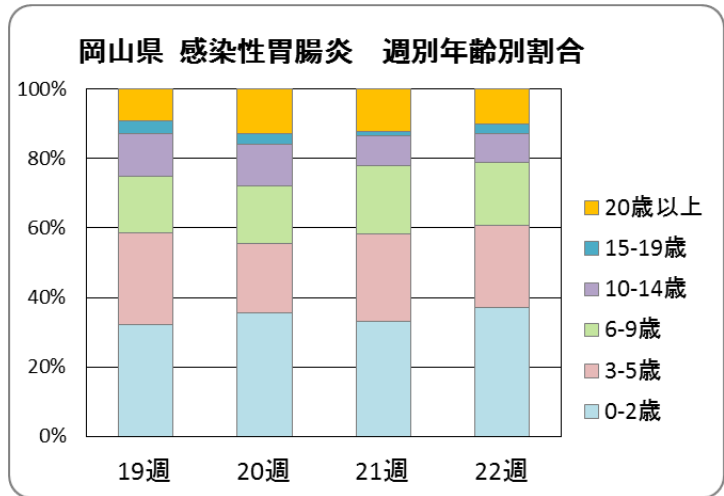
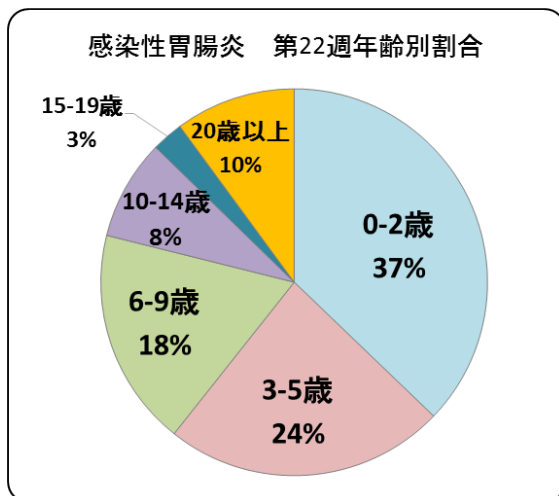
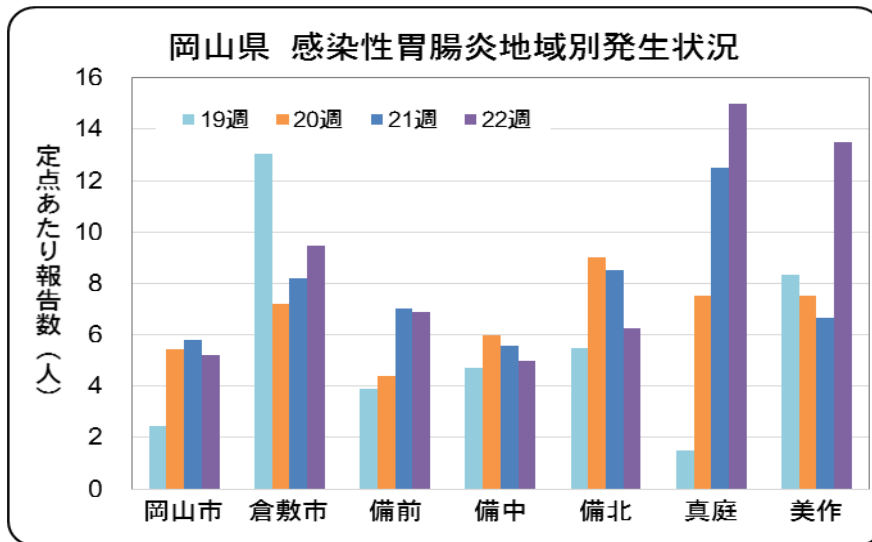
感染性胃腸炎は、県全体で417名（定点あたり7.02 → 7.72人）の報告があり、前週より増加しました。

例年、梅雨から夏にかけての高温多湿になる時期は、食中毒菌による感染性胃腸炎も増加します。トイレの後や食事、調理の前には、特にしっかりと石けんと流水で手を洗うなど、感染予防に努めてください。食中毒の原因となる菌には、増殖しても味やにおいあまり変化を起こさないものもあります。味やにおいを過信するのは止めましょう。

[食中毒に関する情報（厚生労働省）](#)

◆地域別・年齢別発生状況





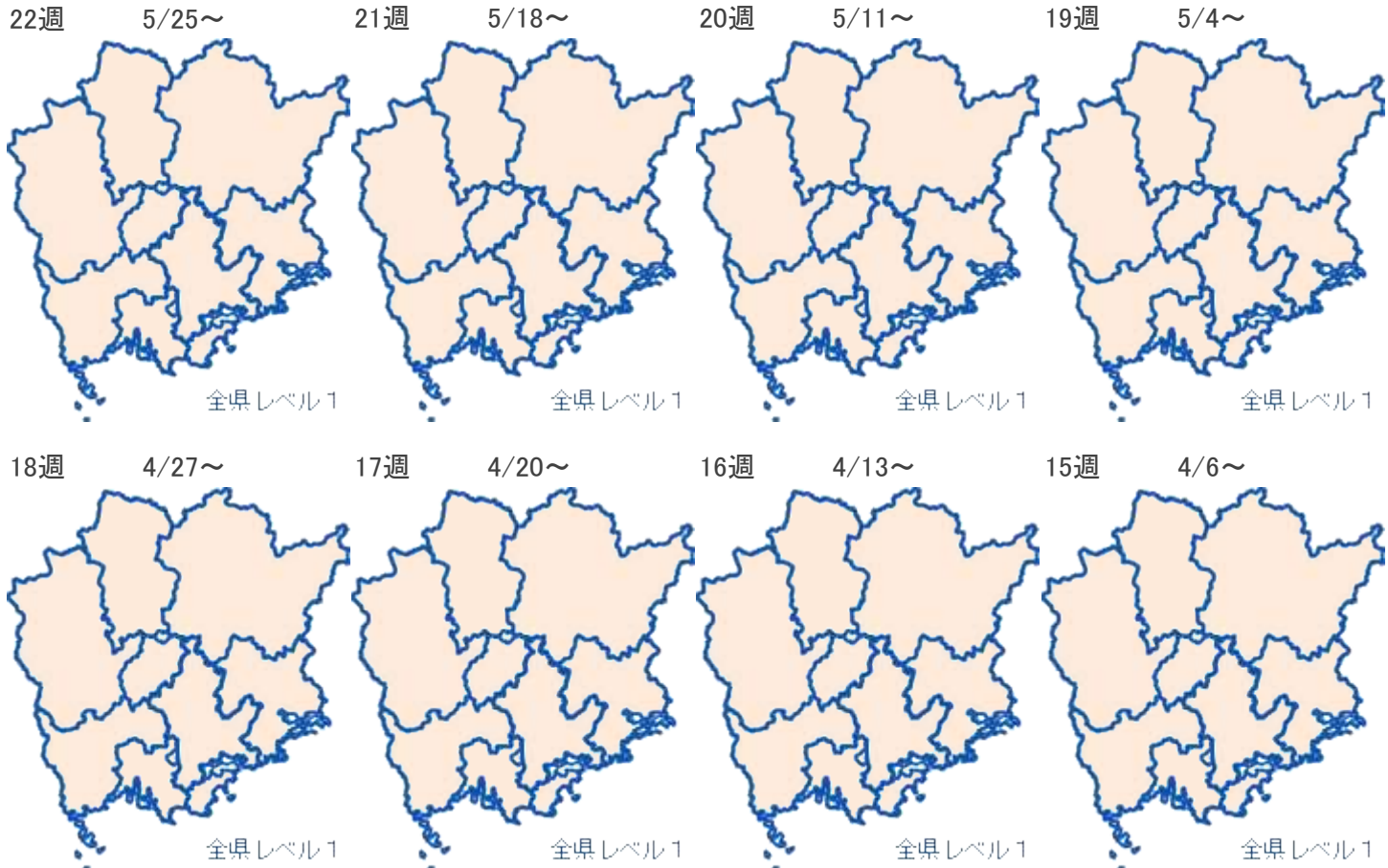
地域別では、美作地域（6.67→13.50人）で前週より定点あたり報告数が大きく増加しました。また、真庭地域では3週連続で、倉敷地域では2週連続で増加しています。真庭地域（15.00人）、美作地域（13.50人）、倉敷市（9.45人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。年齢別割合では、5歳以下の乳幼児が全体の61%を占めています。



岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2015年 22週

2015年6月3日

11:57:19



感染性胃腸炎

| レベル3 | | レベル2 | レベル1 | 報告なし |
|-------|-------|------|--------------|------|
| 開始基準値 | 終息基準値 | 基準値 | 基準値 | 基準値 |
| 20 | 12 | | 0 < 20 未満 | 0 |

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。